

新学術領域研究班「ウイルス感染現象における宿主細胞コンピテンシーの分子基盤」ワークショップ

“Toward challenges for virus-host interactions”

日時 平成 29 年 10 月 27 日（金）9 時 45 分 から 18 時

場所 大阪大学微生物病研究所 融合型生命科学総合研究棟 1 階
谷口記念講堂

領域代表挨拶 9:45-10:00

永田恭介 筑波大学

Session 110:00-12:00

○構造生物学的手法により解き明かすRNAウイルスの細胞侵入およびその阻害機構

橋口 隆生 九州大学・大学院医学研究院・ウイルス学

○ウイルスタンパク質の細胞内輸送制御

森川裕子 北里大学・北里生命科学研究所・大学院感染制御科学府

○転写型インフルエンザウイルスポリメラーゼの生化学的・構造生物学的解析

川口敦史 筑波大学・医学医療系

○ヘルペスウイルスは如何に宿主細胞機構をハイジャックするか？—最新の知見

川口 寧 東京大学医科学研究所・ウイルス病態制御分野

Lunch break 12:00-13:00

Session 213:00-14:30

○ペア型レセプターを介した感染制御機構

荒瀬尚 大阪大学 微生物病研究所 免疫化学分野

○ウイルスリポペプチドを標的とした新しい CTL 応答

杉田昌彦 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 細胞制御分野

○ボルナウイルスの核内複製と共存進化における宿主コンピテンシー

朝長啓造 京都大学 ウイルス・再生医科学研究所 RNA ウイルス分野

Coffee break 14:30-14:45

Session 3 14:45-16:15

○Challenge to fusion of virus research and computational science (ウイルス研究
と計算科学の融合への挑戦)

佐藤裕徳 国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター第二室

○Visual Analysis of Long Single-stranded RNA Structure

竹安 邦夫 京都大学大学院・生命科学研究科

○オミックス解析から明らかにする宿主感染コンピテンシー

夏目徹 産業技術総合研究所・創薬分子プロファイリング研究センター

Coffee break 16:15-16:30

Session 4 16:30-18:00

○パネルディスカッション ”For the progress of future virological research”

俣野哲朗 国立感染症研究所・エイズセンター

川口敦史 筑波大学・医学医療系

橋口 隆生 九州大学・大学院医学研究院・ウイルス学

開催場所：大阪大学微生物病研究所

融合型生命科学総合研究棟 1階

谷口記念講堂

大阪大学微生物病研究所 HP アクセス：<http://www.biken.osaka-u.ac.jp/access/>

交通案内

電車	阪急電車千里線 北千里駅下車 東へ徒歩 約 15 分
電車・バス	北大阪急行線 千里中央下車 阪急バス 千里中央発「小野原東・富士火災（12 番のりば）」方面行 阪大口バス停下車徒歩約 5 分
モノレール	大阪モノレール彩都線 阪大病院前駅下車 西へ徒歩 約 25 分
バス	近鉄バス 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」（JR 茨木駅経由）阪大本部前バス 停下車徒歩約 20 分

吹田地区へのアクセス



交通図



吹田キャンパス配置図



微生物病研究所建物配置図



⑩ 融合型生命科学総合研究棟